



黒の奔流



鬼畜



ゼロの焦点



三重スパイ



天使の入り江



あなたの目になりたい

松本清張生誕100年を記念して清張原作映画を特集。

松本清張映画祭



特別企画

松本清張生誕100年祭協賛

特別企画 日仏交流150周年記念／シネマテークプロジェクト第一回企画

フランス映画の秘宝

日本未公開のフランス映画の傑作を上映。



特別企画／松本清張生誕100年祭協賛

松本清張映画祭

松本清張生誕100年を記念して清張原作映画を特集。

16【木】
14:00
20【月祝】
11:00

顔



無免許で墮胎をしていた飯島という男が列車から落ちて死亡する。飯島を突き落としたのは水原秋子というモデルで、過去に飯島の手伝いをしていたのだ。ところが列車の中で二人を目撃した石岡が、秋子に接近してくる。男を踏み台にしての上がろうとする主人公の欲望と事件の発覚を恐れる不安が映像化された作品。

監督：大曾根辰保
出演：大木実 岡田茉莉子

1957年／35ミリ／モノクロ／104分／松竹

17【金】
14:00
26【日】
14:00
8/2【日】
11:00

張込み



ピストルを持って逃亡中の強盗殺人犯を探するために二人の刑事が、犯人の元恋人である女が住む佐賀にやって来る。刑事は犯人が現れるのを待ち、今は結婚して平凡な生活を送る女を密かに張込むのだった。ドキュメンタリータッチの緊張感溢れる演出が見事な野村芳太郎監督の代表作の一本。犯罪ドラマの一つの頂点と評価されている傑作である。

監督：野村芳太郎
出演：高峰秀子 宮口精二

1958年／35ミリ／モノクロ／116分／松竹

18【土】
11:00
23【木】
14:00
25【土】
11:00

眼の壁



昭和電業の会計課長・関野は、金融詐欺により大金をだまし取られ、自殺する。次長の萩崎は関野の遺書を頼りに友人の新聞記者の力を借りて事件の真相に迫ろうとする。そして政界の黒幕といわれる男の存在を知るのだった。複雑な社会背景を盛りこんだ社会派推理のベストセラーである同名の原作を映画化した作品。

監督：大庭秀雄
出演：佐田啓二 鳳八千代

1958年／35ミリ／モノクロ／95分／松竹

18【土】
14:00
24【金】
14:00
30【木】
14:00

点と線



博多の香椎の海岸で男女の死体が発見され、心中と判断された。しかし不審に思った鳥飼刑事は、東京の刑事と共に事件を調査する。死んだ男は霞ヶ関の課長補佐であり、官庁の汚職がらみの事件と思われたが、容疑者は事件当日北海道に出張していた。松本清張の名前を知らしめたベストセラーの映画化作品。列車の時刻表の謎など清張ならではのトリックが見所である。

監督：小林恒夫
出演：南廣 高峰三枝子

1958年／35ミリ／カラー／85分／東映

18【土】
17:00
8/1【土】
11:00

黒い画集 あるサラリーマンの証言



石野は愛人のアパートから帰る途中、知り合いの杉山と挨拶する。その夜殺人事件があり、杉山が容疑者として逮捕される。アイリッシュ証言を求められる石野だが、愛人との関係が発覚するのを恐れて石野は杉山と会っていないと証言するのだった。松本清張の「黒い画集」の中の一編「証言」を映画化した作品本作のヒットにより、「黒い画集」シリーズが連作される。

監督：堀川弘通
出演：小林桂樹 中北千枝子

1960年／35ミリ／モノクロ／95分／東宝

19【日】
11:00
22【水】
14:00
8/1【土】
14:00

ゼロの焦点



出張で金沢へ行った夫の意いが帰宅せず、妻の禎子は会社の同僚と共に金沢に向かう。ところが意一の宿泊先さえ分からず行方が全く分からないのだった。会社に勤める前憲一が警官をしていたことなど、禎子の知らない過去が次第に明らかになっていく。同名のベストセラー小説を映画化した作品。夫の死の真相を探る妻を久我美子が好演する。

監督：野村芳太郎
出演：久我美子 高千穂ひづる

1961年／35ミリ／モノクロ／95分／松竹

特別企画／日仏交流150周年記念 シネマテークプロジェクト第一回企画

フランス映画の 秘宝

日本未公開のフランス映画の傑作を上映。

会期／7月1日(水)～12日(日)

※休館日・休映日を除く

観覧料／800円(大人) 700円(大学生・高校生)
600円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は400円(会員証の提示が必要です。)

1【水】
14:00
4【土】
11:00
10【金】
19:00
11【土】
17:00

最後の切り札 Dernier atout



監督：ジャック・ベッケル
出演：レイモン・ルロー
ミレイユ・バラン

日本語字幕付き

南アメリカのある国。警察学校の生徒クラレンスとモンテスは対称的な性格だったが、共に主席の座を争うライバルだった。ある日ホテルで男の死体が発見され、どちらが解決するかで二人は勝負する。ジャック・ベッケル監督のデビュー作。ベッケルがアメリカ犯罪映画から強い影響を受けていることがよく分かる。ラストの追跡劇が素晴らしい。

1942年／ビデオ／モノクロ／105分／フランス

3【金】
19:00
5【日】
11:00
9【木】
14:00
11【土】
14:00

あなたの目になりたい Donne-moi tes yeux



監督：サッシャ・ギトリ
出演：ジュヌヴィエーヴ・ギトリ
サッシャ・ギトリ

日本語字幕付き

49歳の彫刻家ブレッソルは、20歳のカトリヌという女性と出会い結婚を申し込む。しばらく返事を待ってもらいように頼むカトリヌ。ところがその間ブレッソルが他の女性と親しくしていることを知る。カトリヌは傷つくのだが、ブレッソルには彼女に言えない事情があった。ドイツ占領下で製作された作品で、監督と監督夫人が主演の二人を演じている。

1943年／35ミリ／モノクロ／90分／フランス

会 期／7月15日(水)～8月2日(日)※休館日・休映日を除く
観覧料／600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

17【金】
19:00
20【月・祝】
14:00
26【日】
11:00

霧の旗

監督：山田洋次
出演：倍賞千恵子 滝沢修



(C) 1965松竹株式会社

柳田桐子は、殺人の罪を着せられた兄の弁護を頼みに、九州から東京の大塚弁護士事務所にやって来る。しかし貧しい桐子は門前払いをされてしまう。数年後兄が獄死し、桐子は東京で働くが、偶然大塚弁護士の愛人と知り合う。倍賞千恵子がクールな演技で弁護士に復讐する、社会派推理といわれた松本清張原作の代表作の一つ。

1965年／35ミリ／モノクロ／111分／松竹

15【水】
14:00
29【水】
14:00
8/2【日】
14:00

砂の器

監督：野村芳太郎
出演：丹波哲郎 加藤剛



蒲田駅構内で男が殺された。容疑者は被害者が殺される前にバーで一緒に飲んでいた男で、手がかりは東北弁を話していたということだけ。二人の刑事はわずかな手がかりから執念で捜査を続ける。本作は日本映画を代表する名作の一本とされる。映画のために書き下ろされた交響曲「宿命」、そして四季折々の美しい映像の中の悲しい物語が素晴らしい感動を与える。

1974年／35ミリ／カラー／143分／松竹＝橋本プロ

19【日】
14:00
24【金】
19:00
25【土】
17:00

黒の奔流

監督：渡邊祐介
出演：山崎努 岡田茉莉子



(C) 1972松竹株式会社

弁護士の矢野は恩師に認められるために、有罪が確実と思われる殺人事件の弁護を引き受ける。見事無罪を勝ち取り一躍有名になる矢野だが、行き先の無い被害の女性を事務所で雇い関係を持つてしまう。出世のために女を犠牲にしていいとわかない主人公と、愛を求める薄幸の女性との愛情劇。

1972年／35ミリ／カラー／90分／松竹

16【木】
19:00
8/1【土】
17:00

鬼畜

監督：野村芳太郎
出演：岩下志麻 緒形拳



印刷屋の竹下宗吉は妻の他にも愛人の菊代を囲っており、三人も子供を作っていた。宗吉の仕事がうまくいかなくなり、手当をもらえなくなつた菊代は子供を宗吉の元に置いていってしまう。妻は子供達に冷たい仕打ちをするのだった。気の弱い宗吉を緒形拳が好演する。子供が一人ずついなくなる過程は恐ろしいほどのサスペンスに溢れる。

1978年／35ミリ／カラー／110分／松竹

19【日】
17:00
25【土】
14:00
30【木】
19:00

影の車

監督：野村芳太郎
出演：加藤剛 岩下志麻



浜島幸雄は、旅行代理店に勤める30代のサラリーマン。東京の郊外の団地で妻と暮らしており子供はいなかった。ある日幸雄はバスの中で幼なじみの泰子と出会う。泰子は夫に死なれた未亡人で6歳の男の子と二人暮らしであり、幸雄のすぐ近くに生活していたのだ。外向的な妻との生活に少し倦怠感を感じてうちに次第に深い関係になっていく。ところが泰子の息子の健一はなかなか幸雄に馴染まない。泰子との不倫を重ねる幸雄は、健一が自分を殺そうとしているとい

う妄想にとらわれる。「砂の器」や「張込み」と同じ橋本忍脚本、野村芳太郎監督による心理サスペンスの傑作である。少年時代に暗い過去を持つ主人公が、過去の自分と同じ立場の少年と出会うことで忌まわしい呪縛にとりつかれていく。6歳の少年に殺されるというサスペンス溢れる心理描写が素晴らしい。主人公の平穩な日常生活が瞬く間に崩壊する様は観客に衝撃を与える。子供が重要な役目を演じている点ではその後の「砂の器」「鬼畜」などにも通じる作品である。

1970年／35ミリ／カラー／98分／松竹

主催：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 コミュニティシネマ支援センター

共催：アテネ・フランセ文化センター せんだいメディアテーク 川崎市アートセンター 神戸アートビレージセンター 広島市映像文化ライブラリー 高知県立美術館 山口情報芸術センター

後援：フランス大使館 九州日仏学館 助成：国際交流基金

協力：朝日新聞社 東京国立近代美術館フィルムセンター 東京日仏学院 ユニフランス 特定非営利活動法人映画美術学校

2【木】
14:00
5【日】
14:00
10【金】
14:00
11【土】
11:00

罪の天使たち

Les anges du péché



監督：ロベール・ブレッソン
出演：ルネ・フォール
ジャーニー・オルト
日本語字幕付き

信仰心の厚いアンヌ＝マリーは修道院に入る。彼女はそこで、男をピストルで撃ち殺し身を隠すために修道院に入ったテレーズという女性と出会う。テレーズを改心させようとするアンヌ＝マリーだが、反発されるだけだった。ロベール・ブレッソン監督のデビュー作。独自の演出を行った後年のブレッソン作品とは違い、通常の演出スタイルで製作されているが、それでも完成度は高い。

1943年／35ミリ／モノクロ／96分／フランス

2【木】
19:00
4【土】
14:00
8【水】
14:00
12【日】
11:00

天使の入江

LA BAIE DES ANGES



監督：ジャック・ドゥミ
出演：ジャンヌ・モロー
クロード・マン
日本語字幕付き

パリで銀行員として働くジャンは、ある日旅先のカジノで大金を得る。ジャンルの魅力にとりつかれたジャンはニースの安ホテルに泊まり、カジノ通いの日々を送る。ジャンはカジノでジャッキーという女性と出会い、二人でジャンブルを続けるのだが、ある日大負けして一文無しになってしまう。「シェルブールの雨傘」が資金難で頓挫していた時期にジャック・ドゥミ監督が6週間で完成させた作品だが、ドゥミ監督の別の側面を現す傑作となった。

1962年／35ミリ／モノクロ／82分／フランス

3【金】
14:00
4【土】
17:00
9【木】
19:00
12【日】
14:00

三重スパイ

Triple agent



監督：エリック・ロメール
出演：カテリーナ・ディダスカ
セルジュ・レンコ
日本語字幕付き

1936年のフランス。旧ロシア帝国軍の將軍だったフォードルは、ロシア革命に反対し、ギリシャ人の妻と共にフランスに亡命していた。フォードルはスパイ活動を行っていたが、妻は政治にまったく無関心だった。実際に起きた未解決事件を脚色した作品。本作は通常のスパイ映画ではない。映画は何も知らない妻の視点から描かれ、夫に対する疑念が緊張感を持って描かれる。

2003年／35ミリ／カラー／115分／フランス

7月

09 上映スケジュール

フランス映画の秘宝

1 水	14:00	最後の切り札	
2 木	14:00	罪の天使たち	19:00 天使の入江
3 金	14:00	三重スパイ	19:00 あなたの目になりたい
4 土	11:00 最後の切り札	14:00 天使の入江	17:00 三重スパイ
5 日	11:00 あなたの目になりたい	14:00 罪の天使たち	
6 月		休館日	
7 火		休映日	
8 水	14:00	天使の入江	
9 木	14:00	あなたの目になりたい	19:00 三重スパイ
10 金	14:00	罪の天使たち	19:00 最後の切り札
11 土	11:00 罪の天使たち	14:00 あなたの目になりたい	17:00 最後の切り札
12 日	11:00 天使の入江	14:00 三重スパイ	

13 月 休館日
14 火 休映日

松本清張映画祭

15 水	14:00	砂の器	
16 木	14:00	顔	19:00 鬼畜
17 金	14:00	張込み	19:00 霧の旗
18 土	11:00 眼の壁	14:00 点と線	17:00 黒い顔集 あるサラリーマンの証言
19 日	11:00 ゼロの焦点	14:00 黒の奔流	17:00 影の車
20 月祝	11:00 顔	14:00 霧の旗	
21 火		休館日	
22 水	14:00	ゼロの焦点	
23 木	14:00	眼の壁	
24 金	14:00	点と線	19:00 黒の奔流
25 土	11:00 眼の壁	14:00 影の車	17:00 黒の奔流
26 日	11:00 霧の旗	14:00 張込み	
27 月		休館日	
28 火		休映日	
29 水	14:00	砂の器	
30 木	14:00	点と線	19:00 影の車
31 金		休館日	
8/1 土	11:00 黒い顔集 あるサラリーマンの証言	14:00 ゼロの焦点	17:00 鬼畜
2 日	11:00 張込み	14:00 砂の器	

フランス政府公式文化機関 **IFJ** 九州日仏学館
INSTITUT FRANCO-JAPONAIS DU KYUSHU
福岡にしながら、本格フランス文化に触れることができる福岡のプチ・フランスです。
〒810-0041 福岡市中央区大名2-12-6 ビルF(地下鉄赤坂駅3番出口を出てすぐ)
TEL : 092-712-0904 <http://www.ifj-kyushu.org>
開館時間(日祝月休は休館) 火～金 : 10:00-13:00 / 14:00-19:00
土 : 10:00-13:00 / 14:00-18:00

福岡日伊協会映画鑑賞会

『ボイス・オブ・ムーン』(1990年制作・121分)

監督・脚本:フェデリコ・フェリーニ/出演:ロベルト・ベニーニ、パオロ・ヴィラジジョ、ナディア・オッタヴィアーニ他
日 時: 2009年7月17日(金) 19:00～21:00 ※入場無料・先着120名
会 場: あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100
主 催: 福岡日伊協会 TEL092-476-2153(西日本シティ銀行内)
協 力: 財団法人福岡文化財団

フランス映画の秘宝

2008年は日仏交流150周年の年でした。東京では、フランスを代表するフィルムアーカイヴであるシネマテーク・フランセーズのセルジュ・トゥピアナ館長と、映画評論家・蓮實重彦氏がシネマテーク・フランセーズのコレクションを中心に選定し、フランス映画の傑作13本が上映されました。今回の上映は、その中から5本をセレクトして地方巡回したものです。フランス映画は他国に比べれば比較的日本で上映されている国ですが、それでもロベール・ブレッソン、ジャック・ベッケルのデビュー作、日本では未知の作家とも言える巨匠サッシャ・ギトリや、日本にもファンの多いエリック・ロメールの日本未公開作など正に秘宝といえる作品群を上映いたします。二度と見ることができないかもしれないフランス映画の傑作揃いです。



九州大谷短期大学オープンカレッジ 兼 アジアフォーカス映画講座
「アジア映画の見方」

なじみの薄いアジア映画はどのように観れば面白くなるのか。アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクターである梁木靖弘が講師として、各地の映画祭の裏話を交えながら、楽しく語ります。

会期・時間: 8月3日(月)～8月5日(水) 13:30～16:30

会 場: アクロス福岡2Fセミナー室2(福岡市中央区天神1-1-1)

定 員: 50名(先着順)

受 講 料: 6,000円

申し込み方法: 専用ハガキもしくはFAXにて、講座番号「27」、講座名「アジア映画の見方」、住所、氏名、電話番号を記入の上、下記まで申し込み下さい。その後受講料をお振り込みいただきます。振り込み用紙がお手元ない場合は、お問い合わせ下さい。申込締め切りは7月27日(必着)。定員になり次第締め切ります。

申し込み先: 〒833-0054 福岡県筑後市蔵数495-1

九州大谷短期大学生涯学習センター FAX: 0942-53-9901

問い合わせ先: 九州大谷短期大学生涯学習センター 0942-53-9899

アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会 092-733-5170

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分)

●博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分)

●福岡タワー南口バス停から徒歩3分

所要時間は交通事情により異なります。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセン

ター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表): 092(852)0600

映像資料課: 092(852)0608 Fax: 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ <http://www.cinela.com>